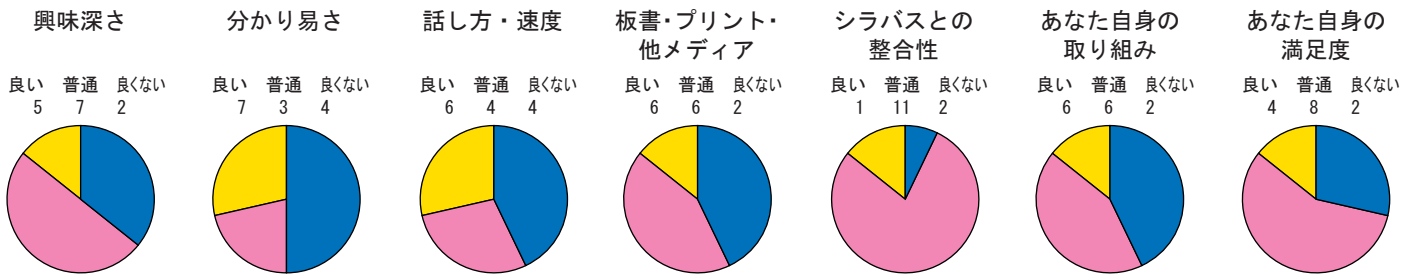


平成15年度3学期 生物学類授業評価

「クラスセミナー」

回答者数：14名 履修申請生物学類生数：93名 (回答率15%)



良かった点

- ・今まで、なかなか発表する機会はなかったが、これからは増えると思うので、いい機会だった。自分がどんな分野が好きなのか考える時間もとれた。
- ・蝶について少しだけ詳しくなったかもしれません。

改善すべき点

- ・議論がだれてしまいがちなところ。なぜか毎回みんな本の内容に批判的。世の中にはそんな怪しい本しかないのか？それともみんなの選んだのがたまたま？
- ・クラスによって差がありすぎる。
- ・授業の進むスピードが少し速かったです。

担当教官のコメント

回答率が悪すぎて、コメントのしようがありません。この授業も、目的が抽象的で、どのように行なったらよいかかわらず、試行錯誤の1つでした。「蝶」という1つの分類群について、系統、生態、形態、生理をまんべんなく網羅した高校？ 大学レベルの啓蒙書を読んでもらいましたが、毎回、「やる気のなさ」がヒシヒシと伝わってきた授業で、失敗したと思っています。「なぜウチのクラスだけ英語を読まねばならないのか」という不満を伝えられました。「蝶なんて子供の生き物」で「ショウジョウバエこそ生物学」という偏見も聞いています。もっとも、他のクラスの学生から、この英語の本のコピーが欲しいという申し出があったりして、多様な学生気質も垣間見ました。今後もこういう授業は行なうつもりですが、「自己の生物観を拓げる意欲のない学生」に対してどのように対応すべきか、頭を抱えています。